

修士論文
2012年7月

ごみ処理の中日比較

指導 小沢一彦 教授

国際学研究科

国際協力専攻

209J1952

秦億

目次

序章.....	1
第1章 先行研究.....	3
第2章 中日両国のごみ処理における法律体系.....	6
2.1 中国における廃棄物処理の法律体系	6
2.1.1 中国の環境法律体系	6
2.1.2 環境保全に関する各部門	8
2.1.3 中国での固体廃棄物の定義と分類	8
2.1.4 中国の地方自治体ごみ処理対策事例	9
2.2 日本における廃棄物処理の法律体系	10
2.2.1 日本の環境法律体制	10
2.2.2 日本の廃棄物の定義と分類	11
2.2.3 日本の地方自治体ごみ対策事例.....	12
2.3 ごみの定義.....	13
第3章 中国のごみ処理状況.....	14
3.1 ごみ処理の責任者	14
3.2 ごみ処理システム.....	16
3.3 中国都市部のごみ処理状況	16
3.3.1 中国都市部のごみ分類と排出量の推移.....	16
3.3.2 都市部のごみ処理の変化	17
3.3.3 都市部ごみ処理の問題点	18
3.4 ごみ捨て場になった農村部.....	19
3.4.1 農村部のごみ収集の現状	19
3.4.2 農村部のごみ処理の問題点	20
3.5 ウェスト・ピッカー	21
第4章 アンケート調査.....	23
4.1 中国で行われたアンケート調査.....	23
4.2 日本で行われたアンケート調査.....	30
4.3 アンケート調査についての考察.....	35
第5章 全体的な考察—中国のごみ処理対策に関する提言—.....	36

要旨

中国は改革開放から現在まで、目覚ましい経済成長を遂げてきた。しかしそれにとともに、都市化過程の加速、人口の都市集中および人民生活水準の向上が進むにつれて、かつてアメリカや日本などの先進国が経験してきたのと同様に、環境汚染も深刻になる一方である。政府も環境問題に注目し、各種の法律や政策を打ち出してきた。いまでは、環境問題に関して独自の法律体系がほぼ整えられている。

数多くある中国の環境問題の中でも、いま最も注目を浴びているのが大気汚染と水汚染である。大気汚染や水汚染に関する報道記事や出版物、論文が多くあり、政府も大気汚染と水汚染の防止、汚染物質処理の広報に力を入れ、各種の政策や法律・条例を整備しつつある。国民も大気汚染と水汚染がもたらした生活への影響を確実に体験し、自ら進んで大気汚染や水汚染の防止に取り組んでいる。その一方で、同じく深刻になりつつあるごみ問題は、政府やマスコミにあまり重要視されず、広報や環境教育に力を入れないまま現在に至っているため、住民のごみ問題に対する認識はまだ低い。

日本はかつて現在の中国と同様な高度経済成長期を経験し、同時に公害問題が多数発生したが、それを乗り越え、いまは環境問題対策の先進国になっている。ごみ処理についても、先進国といえる。中国のごみ処理は、日本などのごみ処理先進国のごみ処理に関する経験や方法を参考にしなければならないが、一方で中国と日本では生産構造、都市構造、国民性など多くの面で異なる点があることから、中国の国情に適したごみ処理方法を探り出す必要がある。ごみ問題を解決するためには、発生したごみを無公害化処理するだけでなく、ごみの発生を抑制することも欠かせない一環となる。それを実現するためには、政府の政策、企業の資金と技術とともに、住民側からの協力も重要な力となっている。

中国の独特の国情としては、ウェイト・ピッカーの存在が挙げられる。ウェイト・ピッカーのメリットから見れば、彼らの存在は都市部ごみ処理において十分な役割を果たしているといえる。現在では都市部ごみ処理で欠かせないアクターであることがわかる。インフォーマル・セクターに属しているウェイト・ピッカーのフォーマル化は当面のごみ処理問題の解決策の一つになることが考えられる。ウェイト・ピッカーのフォーマル化も農村部から都市部に移動してきた人たちの雇用策にもなる。

中国のごみ問題は、日本の経験を参考に、ごみの分別収集が一つの解決策になるが、住民の生活習慣と環境意識の差により、当面ではごみ分別させるのが難しい。しかし、環境教育を授業に導入することにより、何十年後に、環境教育を受けて育った人たちが社会の中流になり、日本のように分別できるようにもなりうる。環境教育は将来のごみ問題への対策になる。当面では、中国の独特の国情からすれば、市民に強制的に分別することやごみ収集を有料化することなどよりもウェイト・ピッカーのフォーマル化が有効だと考えられる。

参考文献：

書籍

- 服部美佐子, 杉本裕明 『ゴミ処理のお金は誰が払うのか：納税者負担から生産者・消費者負担への転換』 合同出版 2005年
- 藤吉秀昭、稲田俊昭、西塚栄 『都市ごみ処理技術』 シーエムシー出版 2005年
- 菊池東太 『ゴミ処理場：回収と減量化への取りくみ』 小峰書店 1994年
- 田口正己 『ごみ有料制の現状と政策争点：再論「ごみ、ちょっとまって有料化」』 本の泉社 2005
- 山谷修作 『ごみの有料化』 丸善出版 2007年
- 米村洋一 『現代のごみ問題 総論』 中央株式出版株式会社 1989年
- 田中勝、高月紘 『現代のごみ問題 技術編』 中央法規出版株式会社 1995年
- 山本耕平 『現代のごみ問題—経済編』 中央法規出版株式会社 1985年
- 田中勝 『リサイクルの先進都市から』 リサイクル文化社 1993年
- 後藤典宏 『現代のごみ問題—文化編』 中央法規出版株式会社 1991年

ウェブサイト

- Science Portal China
http://www.spc.jst.go.jp/hottopics/0910recycle/r0910_li.html
- Environment Geology <http://www.kankyo-c.com/column/koramu-chinal.html>
- Record China <http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=44718>
- 日本環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8277>
- 中華人民共和国中央人民政府 hp http://www.gov.cn/flfg/2005-06/21/content_8289.htm
- イーガブ <http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/strsearch.cgi>

論文

- 安孫子 啓、崔夏陽「中国におけるゴミ処理問題と環境教育」 1999年
- 崔夏陽 「資源再利用技術の国際協力に関する研究」 1997年
- 李海濱 「ごみ資源化利用技術の研究」 2009年
- 汪 群慧ら「中国都市ごみの処理現状と対策」 2003
- 富田啓一「天津市における都市生活ごみ収集・処理過程について—フィールドワークによる考察」 2008年
- 吉田 綾「アジア各国における産業廃棄物・リサイクル政策情報提供事業報告書」 2007